

初級

音・振動問題はありませんか 固有振動数測定の基本と活用法

■概要

音・振動の問題を抱えていて対策や設計変更に取り組むためには、問題の現状把握と原因究明が重要です。そのための計測手段として機械・構造物の振動状況を簡単にアニメーション化する「実稼働解析」や、「実験モード解析」が有効です。本セミナーではハンマリング法による固有振動数測定を主軸に振動計測の基礎、振動センサー等の選定留意点を説明します。また、周波数応答関数の実験を行い、実験モード解析の重要性を体感いただくことで、お客様が抱える振動課題を一步でも解決に進められる手がかりを掴んでいただきます。

■対象者

音・振動問題を抱えている方、振動測定の実験がある方、実験モード解析に取り組みたい方

■セミナー内容

1. 固有振動測定の前に捉えておくべきこと
2. モード解析や実稼働解析の重要性
3. 周波数応答関数の測定(実習)
4. その他 振動測定アプリケーションの紹介

■補足

音響・振動計測の基礎を下記URLにて公開しています。適宜、ご参照ください。

https://www.onosokki.co.jp/HP-WK/seminar/online_seminar.htm

日 時	2024年 6月 27日(木) 13:00~16:30 (12:30より受付開始)
会 場	新横浜国際ホテル 会議室A
定 員	16名
参 加 費	無料
ご用意いただくもの	名刺、筆記用具
申込方法	弊社ホームページよりお申し込みください。

<お問い合わせ>

株式会社小野測器 セミナー担当

E-mail: onoseminar@onosokki.co.jp

固有振動数測定の基本と活用法

セミナー内容

1. 固有振動数測定の前に捉えておくべきこと
 - ・現状把握の重要性
 - ・振動現象を定量化・可視化するツールと各種センサーの選定について
2. モード解析や実稼働解析の重要性
 - ・モード解析と実稼働解析とは
 - ・固有振動数測定の方法
 - ・実習前の事例紹介
3. 周波数応答関数の測定(実習)
 - ・DS-5000・O-Solutionを用いた周波数応答関数の測定実習
 - ・MEscopeによる振動アニメーションの紹介
4. その他 振動測定アプリケーションの紹介
 - ・機械・設備の制振対策に向けた制振材料の性能測定
 - ・精密機器、半導体装置における床振動測定(固有振動数測定の活用)
 - ・振動測定を活用した生産ラインにおける品質管理や製造装置の保全

- ※ 実機を用いた実習がございます。
- ※ 途中、休憩が入ります。
- ※ 説明資料と配布資料に一部違いがありますが、予めご了承ください。

この機会に是非ともご参加ください。定員になり次第締め切りをさせていただきます。
同業他社からのお申し込みはお断りさせて頂く場合がございます。

<お問い合わせ>

株式会社小野測器 セミナー担当
E-mail: onoseminar@onosokki.co.jp